

発行所 愛知県山岳連盟  
 発行人 石川 富康  
 編集人 中平等 新一  
 名古屋市天白区中平3-1902  
 TEL&FAX 052-802-8062

◇ 4月21日(土) 愛知県山岳連盟定時総会 (県スポ) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>



親睦スキー大会に参加した皆さん (民宿・佐々木にて)

**第35回岳連親睦スキー大会**

**好天に和やかに楽しく競技!!**

恒例の親睦スキー大会が2月4日(日)に、例年どおりイトシロシヤローロットタウンスキー場で開催された。

雪不足が心配される中、大会の前々日にまとまった雪が降り、また、当日未明から早朝にかけても新雪が5cmほど降り積もり、大会自体は時折強めの風が吹くものの、抜けるような晴天に恵まれ、すばらしいコンディションの中で大会となった。

参加人数は31名と昨年度より4名ほど減ってしまいましたが、和やかな雰囲気の中で、楽しく競技を行った。

レースは、昨年度の覇者である豊橋山岳会の柴田高教さんが連覇し、2位には同じく豊橋山岳会の鈴木良和さん、3位には高体連の関谷雅樹さんが入った。また、団体優勝も豊橋山岳会が圧倒的な強さで4連覇をかざった。競技後の閉会式では、協賛店から快く提供していただいた豪華な商品に盛り上がった。

最後に、石川会長の挨拶にあったとおり、本大会は、愛知県山岳連盟の数多い行事の中で、最も伝統のある行事の

ひとつであり、多くの会員各位の参加により、今後とも発展していくことを祈りたい。なお、成績は次のとおり。

◇個人の部

- 優勝 柴田高教(豊橋山岳会)
- 2位 鈴木良和(豊橋山岳会)
- 3位 関谷雅樹(愛知県高体連)
- 4位 杉本憲広(愛知県高体連)
- 5位 加藤千統(犬山山岳会)
- 6位 磯山 登(犬山山岳会)
- 7位 坂井治夫(犬山山岳会)
- 8位 岩佐太一(犬山山岳会)
- 9位 中山秀樹(豊橋山岳会)
- 10位 田村英雄(安城こもれび)

◇団体の部

- 優勝 豊橋山岳会 A
- 2位 犬山山岳会 A
- 3位 安城こもれび A
- 3位 愛知県高体連
- 5位 岡崎山岳会
- 6位 犬山山岳会 B
- 7位 県岳連役員
- 8位 豊橋山岳会 B

本大会の商品につきましては以下の協賛店のご協力を頂きました。紙面を借りて厚く感謝を申し上げます。

アルパインツアーサービス、駅前アルプス、カジタックス、ステラアルピーナ、穂高、モンタニア(順不同)

### 山岳レスキュー講習会・積雪期

## 厳しさを踏まえたレスキュー講義

指導委員会  
指導常任 勝野準生

1月27日、28日の2日間にわたって鳥取県大山で開催された日山協主催の積雪期レスキュー講習会に、灌根委員と共に参加した。

愛知の2名が参加した「救助技術コース」は、先ず講師から現役救助隊員としての生に対する強い意志と死に対する悔しさという現実の厳しさを踏まえたレスキューの組み立てが講義された。

それは「3つのS、プラスもうひとつのS」である。「Safety(安全)、Surgically(素早く)、Survivably(間違い無く)」の3つのSが正三角形に結ばれることが最良であり、1つのSが突出した二等辺三角形は逆に危険度が増す。そしてその正三角形を大きくすることが大事。もうひとつのSとは「Simple(単純な)」であり、一目で確認できることというものである。また「救助は一回勝負。やり直しは無効。そして二重遭難は絶対起

こさない。」という心構えも伝えられた。

最初の実技はレスキューに耐える雪山での色々な支点の作成で、スノーピケットや土嚢袋等の人工物から柴や立ち木等の自然物までが対象である。次いで二次遭難の回避を前提に初動パトリール、アバランチトラップ、シーパーによる搜索、アバランチプロップ、遭難者の掘り出しまでの搜索活動を、引き続き遭難者の搬送として梱包とローアダウン、ライジングを学んだ。

2日目は事故発生から搬送までの救助の実際をシミュレーションし、前日に学んだパトリール毎の技術を講習生が組み立てながら一連の流れの中で学んだ。

あつという間の2日間であったが、単なる技術論でなく常に生命の重さを感じさせる講習会であった。また雪山に入るものとしての心構えや姿勢、事故に遭わない力などをも問うものであった。

愛知岳連の雪山講習会でも、今回のレスキュー講習会で学んだことをフィールドバックする

### 海外登山研究会報告

## JACC東海支部の「ローツェ南壁」など

副理事長 鈴木清彦  
海外登山担当

2007年2月17日、18日の2日間、オリンピック記念青少年総合センターで開かれた。

17日はナンガ・バルパット、ルパール側南壁中央、ヒラー(新ルート)アルパイン・スタイルのステイプ・ハウスの報告会は都合で行けませんのでした。

18日の登山報告は①JACC東海支部の「ローツェ南壁」②東海大の「K2南南東リブ」③CMCの「メル・シャークスフィン」④横山勝丘隊の「アラスカ・ブロークントウス、ハンター北壁」の4隊でした。

詳細は岳人等の雑誌を見ていただくとして、ローツェ南壁は低温・強風、そして落石の脅威の中での南壁完登は快挙でしたし、単一大学のK2南南東リブは、帰路に800

ると共に、雪山の本質的なものに照準を合わせ安全登山につなげて行きたいと思う。

0mを越えたところでピバークをしながら若い二人の現役学生が登頂し、世界女性最年少初登頂の小松由佳さんは植村直己賞も受賞されました。

メルは課題のヘッドウォールは天候のタイミングで残したものの4度の挑戦を継続けた馬目弘仁さんの情熱が伝わってくるようなアルパインクライミングでした。馬目さん登頂後にベースキャンプからヘッドウォールを眺め、攻略のイメージが高ぶって新たな目標のモチベーションが上がったと報告されていました。

横山勝丘さんのアラスカのクライミングも、特にハンター北壁1ピバークアッセントは「ハウ・トゥー・アルパイン・クライミング」を見ているようで、事前情報はとらず、現地に入ってラインを見つけて登る!という冒険的要素の基

本を貫いているようでした。短時間(アプローチ)・低コストで楽しめるアルパインクライミングのいいエリアだと報告されていました。今年、ネパールのカンテガに出かけられたそうですが、スケールの大きさに圧倒されたことで、ヒマラヤに出かける場合でもアラスカクラスのスケールでトレーニングを積むべきではとの発言にも、感銘を受けました。

次のセッションは日本登山医学会理事で日本山岳会医療委員でもあり「登山医学」や「登山研修」にも数多く執筆されている野口いづみ先生から「高所登山で使う薬」という講演がありました。内容は以下にまとめました。

アセタゾラミド(薬品名ダイアモックス)が最もよく知られていますが、効用は呼吸における換気を刺激することにより高山病の主に予防に効果があるとされています。服用については、高所(日本では生活体験できない高度)に到達する日の朝から250mg(1錠)が適量と思われる、2、4日程度までの内服が推奨とされています。しかし、高山病は睡眠中の呼吸制御によって進展していくことや、半減

期が10時間ほどであること、利尿効果があることから考え合わせると、宿泊場所到着後で、就眠2〜3時間前の投与が効果的と考えられます。副作用として手先の痺れ感や利尿作用があるため、利尿が多い場合には内服を控えたり、水分補給を十分にとることが大切です。脱水は高所で血栓などのリスクが生じ大変危険です。と報告がありました。予防には、薬に頼るばかりではなく、順応のためのトレーニング・プランニングが最も大切で、薬も効率のために、薬の特性を理解しながらの個人の体感を基に結論を導くことが大切だと感じました。

**指導委員会行事予定**

- 6月16、17日 確保技術研修会・講習会(場所未定)
- 6月26日 指導員総会(名古屋・県スポ)
- 7月24日 登山勉強会(名古屋・県スポ)
- 8月1日 登山勉強会(豊橋八町校区市民館)
- 9月2日 指導委員会/役員会(名古屋)
- 9月19日 登山勉強会(豊橋八町校区市民館)
- 9月26日 登山勉強会(名古屋・県スポ)

**冬山合宿報告**

**明神岳東稜〜前穂〜奥穂**

春日井山岳会 本多 聡

合宿と名前が付きつつも、メンバーが二人だけの今回の山行は、後半の冬とも思えない快晴&微風のコンディションのおかげで、無事全行程を終えることができました。

それでもやはり、宮川谷のデブリをこえていくことや、暖かいことで急な傾斜の氷化したルンゼに新雪がついたところを、アイゼンが効く深さまで蹴りこんで登ったことなど、緊張することの多い山行でした。正月明けということもあって、明神池から登り始め、新穂高に下山するまで他の人には全く合わずでしたが、トレースに導かれ、精神的にラクをさせてもらいました。奥穂頂上から涸沢岳西尾根の下降路にかけては、踏み跡というよりも完全に道になっていました。

東稜の登攀もそうですが、明神岳山頂から前穂・奥穂と続く吊り尾根は少しでも荒れるとかなり厳しくなることが容易に想像できました。アッ

プダウンが連続し、両側が切れ落ちた尾根に行くのは、天気のいい中360度の景色を楽しみながらはよいですが、烈風の中だとさぞかしハードなものになるだろうと思いい、幸運に感謝しました。

今回、本多は冬季に縦走形態をとるのは初めてでした。荷物は確かに重いですが、山旅の要素が入った縦走はピストンよりも充実感がありました。今後も長期で休みを取れる時には、1ウェイのルートの色々考えてみたいと思います。

**中ア北部縦走**

豊橋山岳会 久保田 敏康

- ▲期日 2006年12月30日〜2007年1月2日
- ▲ルート 中央アルプス 北御所谷〜伊那前岳〜宝剣岳〜檜尾岳檜尾根下降
- ▲メンバー L久保田、S井田伊藤政、山本、井田
- ▲一昨年(2005年)12月の雪上訓練時にも北御所谷から入山し、宝剣山荘前にて東三河遭対協の仲間と合流の段取りでしたが深雪のため、届くことができませんでした。



三ノ沢分岐にて

加えて'06年5月の春合宿における檜尾岳以下南部の縦走は達成されていきましたので、未達の北部をつなげればほぼ主脈縦走完成との触れ込みで、計画立案が成されました。

12月30日積雪が大きく変わったのはウドンヤ峠あたりからであった。それまでの快適な歩行からワカンが必要な積雪となり、倒木も意外と多い！途端にパーティーの足並みが崩れ、予定の7合船窪を諦め小屋場跡を今晩の宿とする。12月31日樹林を抜けると、目前にはカールから見上げる伊那前岳とは異なり堂々たる躯体が景色を圧倒する。上り着くとそこからは見慣れたロップウェー駅を見下ろすことができ、なかなかの心地よさにみな嬉しそうだ。宝剣のピー

**東海地区で登山ツアーなら...**

山旅の予定が満載  
年間総合カタログ  
無料送付致します  
ご請求下さい!

オーダーメイドの山旅も承ります  
お見積り無料! お気軽にどうぞ

初心者からベテランまで...国内日帰りから海外の名峰まで...!  
高所登山の前に最適! 低酸素トレーニング室を設置しています!

国土交通大臣登録旅行業務 1366号/日本旅行業協会正会員/ホド保証会員  
**アミューストラベル株式会社**

〒450-0002 名古屋市市中村区名駅4-11-27 第二豊田ビル東館7階  
TEL:052-588-5617 FAX:052-588-5618 (1階は駅前アルプスさん)

使って安心

**MERZEN** のクリップ

このほかにも各種そろえております

帽子キーパーにも  
便利!



フィッシュクリップ

キーパークリップ

パワークリップ

**株式会社マーゼンプロダクツ**

〒470-0112 愛知県日進市藤枝町小山645 Tel.0561-73-3411

クを境に登山者は激減し躊躇なくロープを取り出し、三ノ沢分岐ですでに時間となる。

1月1日サギダル以後、標高を落とす稜線は檜尾のピークへ駆け上がる。時折吹く風にみな苦しそうだ。檜尾小屋

東海四県正副会長・理事長会議

今後も良好な関係維持に努力

副会長 安藤 武典

3月3日から4日にかけて東海四県正副会長、理事長会議が四日市市のプラトンホテルで行われた。

四県（静岡・岐阜・三重・愛知）の岳連役員が行事等の調整と各岳連の実情報告、そしてなにより親睦を深めるために、年に一度行われる行事である。

今年三重県が担当県で四日市の駅前ホテルで行われ、愛知県からは石川会長、北村理事長、そして安藤の3名が出席した。

議題は

①ブロック大会の計画案説明  
今年ブロック大会は三重で行われ、クライミングは鈴鹿市スポーツセンター、縦走

にて小休止の後、深雪を掻き分け赤沢頭にて幕営。翌1月2日下山。

予定の空木には届かず残念でしたが、メンバーから少しでも良き指導者が輩出されることを期待しております。

競技は白杵ヶ岳周辺で実施される。おつて要項が届くと思われるので関係者に御尽力をお願いしたい。

②全日本登山大会の実施に関する件 日山協から22年度全日本登山大会を東海地区で実施するよう持ちかけられており、静岡県が受けることになった。数年前に実施した三重・愛知岳連共催の全日本はお互いの県にとって有意義であったので2県で受けてもよかったという感想もあった。

③各県の実情報告と調整が続いた。特に愛知県の藤原岳の植生保護、岐阜の夜叉ヶ池周辺の自然保護、富士山の美化、不法投棄問題等環境保護の現状と難しさに関して各県多くの意見がでた。

また三重岳連から愛知岳連に鈴鹿ハト峰の湿原保護活動の協力依頼があった。そのほか遭難対策、指導員活動についての報告や議論がなされた。東海四県は可能な行事は連絡しあい、岳連会員どおしの親睦を深め、協力関係を深めていければと思う。それは岳連の強化になるばかりでなく、会員それぞれの宝にもなっていくことと思う。

愛知山岳トライアル 各部ゴールめざし激走!!

三月十八日(日)愛知山岳トライアルが猿投山で実施された。当日は、気温5℃快晴の絶好のコンディションになり高校、一般男女二十二人の選手が、午前十時駐車場をスタートした。

この大会は、国体の予選を兼ねており、選手たちは気合が入っていた。コースの各ポイントには役員が選手を誘導し、全選手が女子は東の宮男子は頂上三角点のゴールに無事駆け込んだ。

- ▼少年男子
- ① 鐺木厚太 30分15秒
  - ② 山口大樹 35分37秒
  - ③ 竹腰大輝 39分8秒

今回の会議の三重県の報告は各行事をプロジェクトを使ってスライドショーで説明された。行事内容がとてもよくわかり、今後、愛知岳連も行事報告等に検討すべきであると感じた。

会議のあとは会食、そして2次会3次会と親交を深めた。東海四県今後とも仲良くいい関係を維持していきたい。



頂上をめざしてスタートする選手

- ▼少年女子
- ① 鈴木梨沙 35分20秒
  - ② 梅木真奈 43分17秒
  - ③ 小野成美 46分34秒
- ▼成年男子
- ① 平野得益 26分9秒
  - ② 樋山邦治 28分23秒

登山・スキー・アウトドア専門店

豊橋市萱町5 ☎0532-55-0125

Logos: ZERO POINT, THE NORTH FACE, SIERRA DESIGNS, TARAS BOULBA, JANSPO, MONTANA, Fox Fire, Jack Wolfskin

名古屋駅前の山とスキーの専門店

# 駅前アルルス

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目11-27 (第2トヨタビル東館1F)

TEL 052-565-1417

昨年1年間に県内で発生した山岳遭難による死者は54人に上り、前年と比べて倍増し、平成以降、最悪となったことが県警地域課の集計でわかった。冬の豪雪や夏の豪

昨  
年  
県  
内  
ま  
と  
め

雨の影響で登山者は減少したが、雪崩や天候の急変によって多数の登山者が巻き込まれる遭難も目立ち、遭難者数も222人と過去最多を記録した。(太田鉄弥)

# 前年の倍54人 山岳死者 平成以降で最悪

同課によると、遭難の発生件数は前年比で七件増の百七十三件。死者は二十五人、遭難者は三百二人増えた。重症傷者は百二人だった。

発生の六割は、北アルプスに集中。月別では雪崩や吹雪が多い三五月に十九人が死亡し、紅葉期の十月にも吹雪などで十四人が亡くなった。

発生件数のうち半数は、転落や滑落が原因。次いで病気(16%)、疲労凍傷(12%)、道に迷った(9%)など。山スキー中の雪崩や吹雪による死者(二十五人)が増えたのも特徴。

遭難者のうち七割は男性で、男女とも四十代以上の中高年が八割を占めた。単独登山者の遭難は四十七件で八件減ったが、亡くなるケースが多く、四人がまだに行方不明のまま。遭難の多発によって救助のためのヘリコプターの出勤回数も

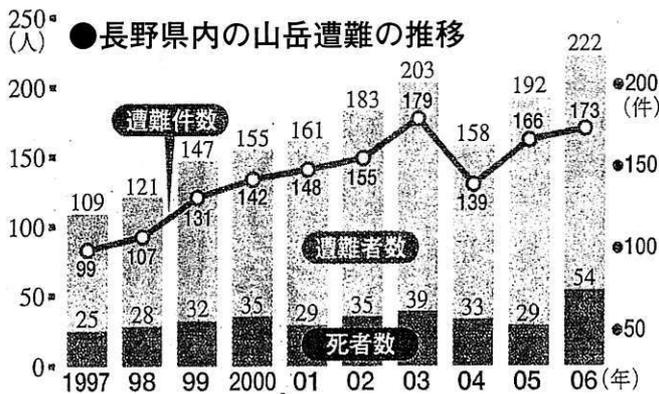
前年の倍54人

## 雪崩や天候急変 被害招く

過去最多の二百二回を記録した。この一方で、登山中の連絡に役立っている山者数は四十九万人で前年より一割減った。手軽な観光登山が楽しめる八ヶ岳連峰が山系別で唯一、三割増の八万二千二人となったが、死者も八人(五人増)に上った。

遭難の通報は、四割が出された県内で初のケー

●長野県内の山岳遭難の推移



### 常任理事会

- ③ 津坂友樹 29分50秒
- ① 成年女子
- ① 中村美子 35分49秒

▼1月9日 OMCビル (出席者) 石川会長、阿部、安藤副会長、中平等議長、北村理事長、杉本(三)、関谷、高橋、岩瀬、岩狭、角野、梶川各常任理事

- I 報告事項
- 1. 冬山遭難対策会議(12/19 県スポ) 高橋
- 2. 第4回ジュニアクライミング講習会(12/26)
- 3. その他

- II 審議・お知らせ事項
- 1. 第35回岳連親睦スキー大会(2/4イトシロ) 関谷
- 2. 指導員集会(2/7豊橋 2/20名古屋) 岩瀬
- 3. 指導員実技検定会(1/21南山) 岩瀬
- 4. 日山協・山岳レスキュー講習会(1/27) 28大山
- 5. 自然保護指導員総会(2/20) 杉本
- 6. 海外登山研修会(2/17) 18代々木
- 7. 東海プロック競技部研修会(2/24三重) 北村
- 8. 日山協評議員会(2/25 東京) 北村
- 9. 愛知山岳トライアル(3/18 猿投山) 北村
- 10. 日山協第2回理事会(3/18 東京) 安藤

名古屋・伏見 長者町の山用品専門店



名古屋市中区錦二丁目5-31 長者町相互ビル2F ☎052-231-0739  
営業時間/11:00~8:30pm(日曜日は7:00pm迄)

ビギナーから安心して選べる三河地区のプロショップ  
エキスパートまで



登山用品豊富!

穂高

〒448 刈谷市桜町1-13  
TEL0566(23)8611  
定休日/火曜日  
営業時間/10:00~20:00

県スポーツ顕彰の表彰式が三月十六日、名古屋市中東区のウイールあいちで行われ、本年度スポーツの振興や発展に功績のあった人々が表彰された。山岳の部では、昨年十月の兵庫国体においてクライミン

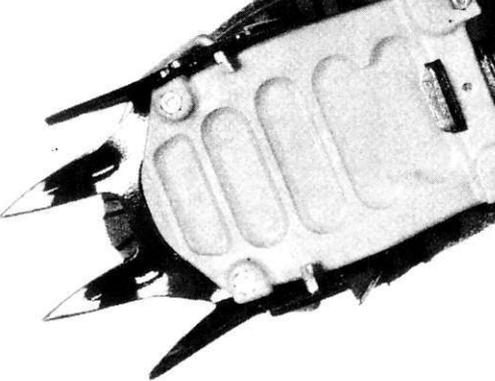
### 県、市スポーツ功労・奨励賞

#### 山岳から三氏に奨励賞

グで優勝した県チームの佐原晴人、田中周平、大山史洋の3氏が奨励賞を受賞した。また、十七日には名古屋市中でも名古屋公会館で表彰式があり、田中周平氏が奨励賞を受賞した。

- 11. 日山協・氷雪研修会(3/17) 富士山 岩瀬
- 12. 雪上技術研修会・講習会(3/24) 御岳 岩瀬
- 13. 指導員検定試験・筆記(3/27) 県スポ 岩瀬
- 14. 北谷小屋規約について
- 15. その他
- ▼2月6日 OMCビル(出席者) 石川会長、中平等議長、北村理事長、関谷、杉本(三)、高橋、岩狭、角野、杉本(憲)、梶川各常任理事
- I 報告事項
  - 1. 指導員実技検定会(1/21) 南山
  - 2. 日山協・山岳レスキュー講習会(1/27) 28大山
  - 3. 第35回岳連陸スキー大会(2/4) イトシロ 関谷
- II 審議・お知らせ事項
  - 1. 指導員集会(2/7) 豊橋
  - 2. 海外登山研修会(2/17) 18代々木
  - 3. 自然保護指導員総会(2/20) 杉本(三)
- 4. 東海ブロック競技部研修会(2/24) 三重 北村
- 5. 日山協評議員会(2/18) 東京 北村
- 6. 東海四県会長・副会長・理事長会議(3/3) 4三重 北村
- 7. 日山協第2回理事会(3/18) 東京 安藤
- 8. 愛知山岳トライアル(3/18) 猿投山 北村
- 9. 日山協・氷雪研修会(3/17) 19富士山
- 10. 雪上技術研修会・講習会(3/24) 25御岳
- 11. 指導員検定試験・筆記(3/27) 県スポ
- 12. 北谷小屋規約について
- 13. 平成19年度度度岳連役員、常任理事改選について
- 14. その他
- ▼3月6日 OMCビル(出席者) 石川会長、安藤副会長、中平等議長、北村理事長、和田副理事長、関谷、杉本(三)、高橋、岩狭、岩瀬、角野、梶川各常任理事
- I 報告事項
  - 1. 指導員集会・指導員規約改定案(2/7) 豊橋、2/20名古屋(岩狭)
  - 2. 自然保護指導員総会(19年度活動計画等) 2/20県スポ(杉本)
  - 3. 海外登山研修会(岳連ニュース掲載) 2/18代々木
  - 4. 日山協評議員会(2/18) 東京 北村
  - 5. 東海ブロック競技部研修会(2/24) 三重 北村
  - 6. 東海四県会長・副会長・理事長会議(3/3) 4四日市 安藤
- II 審議・お知らせ事項
  - 1. 日山協第2回理事会(3/18) 東京 安藤
  - 2. 日山協・氷雪研修会(3/17) 19富士山 岩瀬
  - 3. 愛知山岳トライアル(3/18) 猿投山 北村
  - 4. 雪上技術研修会講習会(3/24) 25御岳 岩瀬
  - 5. 指導員検定試験・筆記(3/27) 県スポ 岩瀬
  - 6. 北谷小屋規約(内容了承し総会に諮る)
  - 7. 19年度予算について
  - 8. 19年度行事予定について
  - 9. 19年度役員、常任理事について
  - 10. 確保技術講習会の会場について
  - 11. その他

(株)カジタックス



**KAJITAX**

雪稜・氷壁・銀世界  
自然派のグッドパートナー

〒487-0024 愛知県春日井市大留町598 ☎0568-51-5110、FAX51-7799



#### 編集後記

■今年の冬は、どうもおかしい。暖冬で雪が少なくと嘆いていたところへ寒波がぶりかえし降雪した。雪崩の起きやすい状態だ。懸念していた矢先に、北海道の積丹岳で雪崩遭難があり、4人が死亡した。心しておこう。

■3月の初めに八ヶ岳・天狗岳に行ってきた。テントの数は少なかったが、幾つものツアーで賑わった。その中にはストックだけの者や、スノーシューズだけ履いた外人さんを見受けたが、憂慮しきりだった。(N)

#### 「世界の山旅」

トレッキングからエクスペディションまで!!

アルパインツアーはヒマラヤからカラコルム、カナディアンロッキー、ヨーロッパアルプス、アラスカ、USA、アンデス、南極、アフリカ、ニュージーランド、パタゴニア、中国、北極圏、日本、その他、世界中の山岳地域、辺境地域へのトレッキング・ハイキング・登山ツアーをご用意しています。ぜひ、ツアーカタログ「世界の山旅・辺境の旅」をご請求下さい。また、登山隊のために航空便の手配などのお手伝いもしています。私達の豊富な知識と経験をもとに随時ご相談に応じていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

運輸大臣登録一般旅行業第490号 日本旅行業協会正会員 IATA公認代理店  
**アルパインツアーサービス株式会社**

〒450 名古屋市中村区名駅3-23-6 第2千禧ビル8階 TEL:052-581-3211